

番号	審査項目	審査	項目	審査基準		
1	事業者に関する項目		「実績」（類似業務実績調書）について	<ul style="list-style-type: none"> ・類似業務（グループウェアの開発及び運用保守業務）の実績が、どれくらい本市業務の履行に当たり役立ちそうか。 ・実績に、本市と同等の自治体があるか。 		
2			「配置人員」（業務従事者調書）について	<ul style="list-style-type: none"> ・本委託業務（グループウェア開発及び運用保守業務）に対する専従率が高い人員が配置されているか。 ・従事者の特色（セールスポイント）は、本業務の履行に当たりどれくらい有用か。 ・メンバーの中に対象業務に関する知識を持つ者が複数いるか。 		
3	企画・技術提案に関する項目	一次審査	全体的に、実施要領、仕様書等に沿った内容であり、本市の状況、運用目的に沿った提案であること。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施要領に合致しているか。 ・全体的に、本市の仕様から逸脱していないか。 ・本市の状況、運用の目的にあった内容であるか。 		
4			本委託業務を実施するにあたり、最適なシステム及びクラウド環境、ネットワーク等を提案すること。あわせて、そのシステムを提案した理由及び他自治体での導入実績の具体的な事例についても記述すること。	（システム及びクラウド環境、ネットワーク等について） <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由が具体的に明記されているか。 ・提案理由の内容が効果的であるか。 ・他自治体での導入実績が具体的か。事例の他自治体の規模感が本市の状況とかけ離れていないか。 		
5			本市の状況を踏まえて、開発内容、手法を具体的に提案すること。また、受託者と職員の作業分担についても明確に示すこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・開発内容、手法が明確であるか。 ・開発内容、手法に対して受託者と職員の作業分担が適切か。 ・開発内容、手法に不明点がないか。 		
6			本市の状況を踏まえて、サポート内容、手法を提案すること。手法が一般的でない場合には具体的に明示すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・サポート内容、手法が明確であるか。 ・情報政策室担当職員の管理負荷軽減、及び利用者の利便性向上が見込めるか。（情報政策室担当者：サーバの日々の監視・ログ管理対応、障害発生時の対応、災害発生時の対応、問合せ対応等。）（利用者（全職員）：画面の操作性、マニュアルの完備等。） 		
7			別紙「必須要件希望要件一覧」の必須要件について、提案書との矛盾がないこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・必須要件は「必須」であり、条件付きになっていないか。 ・できないと読み取れる箇所がないか。 ・システムのオプション機能による提案の場合、その内容が合致しているか。 		
8			別紙「必須要件希望要件一覧」の希望要件について、対応内容を具体的に記述すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・希望要件は「必須」ではないが、全て対応できない、など本市に寄り添わないような提案になっていないか。 ・希望要件の内容が、過剰なものとなっていないか。 ・システムのオプション機能による提案の場合、その必要性を勘案されているか。 		
9			契約期間内のうち、開発から運用開始までのスケジュールについて記述すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・開発から運用開始までのスケジュールの概要が分かりやすく示されているか。 ・必要なイベントが記載されているか。 ・吹田市の仕様を示した概要スケジュールに合致しているか。合致していない場合であっても合理的な提案となっているか。 		
10			契約期間内のうち、開発から運用開始までの期間、及び運用保守期間の業務遂行体制について記述すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・開発から運用開始までの期間、及び運用保守期間の業務遂行体制が分かりやすく示されているか。 ・業務遂行の体制は必要十分であるか。（PJ管理者等、本市にとって必要と考える要員が配置され、かつ、再委託事業者がある場合、再委託事業者がメインとなった体制となっていないこと。（全部又は大部分の再委託は禁止）） 		
11			その他（事業者の意欲、理解力等）に関する項目	二次審査	本件調達の本旨に照らして、貴社が最も強みを発揮できると考える点についてプレゼンテーションしてください。また、今後の技術革新にどう対応していくか、貴社のグループウェアの将来的展望を聞かせてください。	-
12					本件の履行にあたり、リスク管理に関して詳しく説明ください。これまでに受託したプロジェクトでの経験を踏まえてプレゼンテーションしてください。	-
13	質疑応答	-				
14	参考見積価格に関する項目	-	提案内容との整合性をもって価格を算出してください。また、仕様書の内容及び別紙「必須要件」は全て満たし、「希望要件」については「可能」又は「不可能」でも代替案を提案されている場合は、その内容も満たすことを前提とします。もし、仕様書の内容及び別紙「必須要件」が見積対象外となっている場合、この項目の評価は0点とします。	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書及び必須要件記載内容が見積書内で対象外となっていないかを確認の上、本市の定義した方法（右欄記載の計算）によって評価する。 ・一次審査前に事務局が算出し、二次審査のプレゼンテーションの終了後に、委員及び部会員への提示を行う。 		